

# 箱根組ニユース

第308号 2018年 8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！  
各自保険に入って山に登りましょう！

北岳・間ノ岳、広河原から二泊三日で往復コースを単独でゆくり歩く。息をのむ絶景でした。

最初に結論から言います、結果としてとてもいい下見？ が出来ました。

来年このコースを一泊増やして3泊4日で同じ時期に、出来れば日、月、火、水で実施したいと思います。無理のないコースを作ります。ちよつと頑張れば登れます。ぜひご参加ください。

来年の計画・コース予定。

一日目 広河原く御池小屋（泊）

歩行3時間

二日目 御池小屋く北岳く北岳山荘（泊）

歩行5時間15分

三日目 北岳山荘く間ノ岳（荷物を置いて軽いサブザックで往復）

北岳山荘く北岳く肩ノ小屋（泊）

歩行5時間

肩ノ小屋く広河原

四日目

歩行4時間

※今回登って一番思ったのは早朝の景色がとにかく素晴らしいということ。朝6時頃から歩き出すと8時位まではすべての山が見えます。北岳山荘と肩ノ小屋に泊まれば北岳、間ノ岳の尾根

の絶景が見られます。北岳に二度登るとそのチャンスが増えます。二度登るにはちよつと勇気が要りましたが、やってみると二度目は意外と無理なく登れました。来年の夏、皆さんやりましょう！

さて。その北岳・間ノ岳のご報告！

当初、7月28日土曜日から3泊の予定でしたが、台風の影響で天候も悪く、広河原行きのバスが不通との事で29日日曜日発と一日遅らせました。

7月29日、日曜日朝、まだ広河原行きのバスは不通でしたが出発。

東京駅6時7分発の中央特快高尾行に乗車。高尾で乗り換え甲府駅に8時38分着。車中でネットで調べると予定の9時5分発からバスが運行するとの事。バスに乗ると開通したばかりで乗客は5名ほどでした。10時45分頃、広河原に到着。

11時、出発。吊り橋を渡り、広河原山荘の横を抜けて登ってゆく。

11時35分、御池小屋分岐を右に登ってゆく。



2時20分頃、白根御池小屋着。テントを張って生ビールとおつまみで乾杯。夕食を早めにして6時半頃にはシュラフに入る。

7月30日、月曜日、朝3時には目覚める。かなり寒い。トイレに行つて戻つてあまりの寒さにシュラフにもぐりこむ。星が出ている。天気は良さそうだ。

4時半起床。片づけて朝食。テントをたたんで5時50分出発。草滑りのルート標高差500mを3時間かけて登る。

8時、二又からの分岐に到着。

8時50分、小太郎尾根分岐着。北岳山頂方面や甲斐駒の絶景が広がる。特に緑の仙丈ヶ岳が目の前に、圧倒する美しさだ。これから行く北岳の手前の窪地には小さく肩ノ小屋の屋根も見えていた。富士山も少しすそ野に雲があるが堂々と見える。仙丈の右には槍ヶ岳、穂高岳。甲斐駒の右には八ヶ岳の姿。そしてすぐ

現在の収支	
繰越入金	32276 円
	100 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	30976 円

切手残数	
82円切手	205枚
40円切手	131枚

東には鳳凰三山。見飽きることのない景色だ。

9時40分、肩ノ小屋着。500円のサイダーを飲む。

11時、北岳山頂。

12時、北岳山荘着。テントを張って昼食。

1時発、水と非常食等で間ノ岳往復を目指す。天気はガスが多くなってきた。

2時、中白根山3055m。途中の花畑がきれいだ。アツプダウンのコースだ。山頂の標識が見えてきたころ、目の前に雷鳥の姿、よく見ると周りに5羽の子供があちこちに歩いている。登山道にいたのでしばらく様子を見てまた進んだ。ほぼ山頂まで一緒に歩いた。

3時15分、間ノ岳3190mに到着。同じ道に戻つてテント場に4時半着。寒いのでワンカップを買って鍋で温めて熱燗で夕食。

7月31日、火曜日、4時起床。外に出るとうっすらと富士山が見えている。雲海の上には美しい姿だ。日が差して

次回、8月19日(日)奥多摩湖、山のふるさと村でそうめんパーティーです。

らくだコース 歩行2〜3時間

3年前に天ぷら山行で行ったところです。奥多摩駅からバスで小河内神社下車、浮橋を渡り約1時間10分で山のふるさと村です。そこでそうめんをゆでて昼食です。

※お弁当は要りません。

○持ち物 飲料水、非常食、雨具、傘、ポットにお湯、食器、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込みは8月17日(金)までに

集合 8月19日(日)

JR 新宿駅 7:44 発 (11 番線)

ホリデー快速おくたま3号奥多摩行

(奥多摩行きの3両目車内)

※秋川行きに乗らないこと

途中駅発

中野 7:49 三鷹 7:58 国分寺 8:05

立川 8:11 西立川 8:15

奥多摩 9:17 着 (バス乗換)

9:30 発 鴨沢西行

小河内神社 9:56 着

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

くるとまた美しさが際立つ。

このまま八本場のコル經由で下山しようかと迷ったが、このいい天気1時間です山頂なら逃す手はないと地図を見て充分バスに間に合うので、もう一度北岳山頂を目指すこととする。お隣のテントの親子3人は下山との事。

6時10分発、尾根の景色が美しすぎて何枚も写真を撮ってしまう。

7時30分、八本場のコル分岐で山頂から降りてきた若い女性二人と話す。意気投合して一緒に写真を撮ったりしたが彼女らは八本場のコルから左又コースで降りてゆくとので別れた。

8時、二度目の北岳山頂。途中写真を撮ったりしてかなり時間はかかった。山頂から、広河原、御池小屋が確認できた。

8時50分、肩ノ小屋。500円のコーラを一本頂く。来年の為にテント場の確認も。甲斐駒を見ながら気持ちの良い尾根を降りてゆく。9時30分、小太郎尾根分岐。

9時45分、御池小屋と二又の分岐通過。二又を目指す。マルバダケブキの黄色い花が群生していて見事だ。大きな雪渓も見えてくる。

11時、二又着。驚いたことに朝出会った女性二人が休憩していた。2時間ほ

どで着くはずの八本場のコル經由はかなり苦戦したようだ。先に出た二人を途中で抜いて広河原を目指す。7月初旬の大雨で流れた所には随所に新しい橋が掛けられていた。

御池小屋との分岐ではテント場で一緒だった親子が休憩していた。やはり八本場のコル經由は大変だったようだ。山頂を経由してきた人に追いつかれたことに驚いていた。尾根の方が無理なく歩けるといふことのようなのだ。

12時45分、広河原着。1時の甲府行きのバスに間に合った。

## 金峰山下見に8名!

7月15日(日)、東京駅6時7分発中央特快高尾行に乗車。高尾で甲府行きに乗り換え、塩山駅に8時12分着。参加者は奥村、初参加の南里、和田、川名夫妻、有倉、神山、戸丸の8名。

8時30分の予約のバスに乗車のはずがもう一人の方と9名でワゴン車に、バスは途中で乗り換えだがこちらは大弛峠まで直行。しかも予定より早く着くというラッキー。

9時38分、大弛峠着。真っ青な空、快晴だ。でも2360mの峠は涼しくて快適だ。

9時53分、歩き出す。今回の<sup>3</sup>下見はここから金峰山の往復のコース。標高の高い独特の林は苔むしていて白い石楠花が咲いている。10時30分、朝日峠着。

11時、大きな岩だらけの絶景ポイント。すぐに旭岳に到着。有倉さんと川名夫人はもう少し進むとの事だが、皆さんはここままで戻るといふことになり、戸丸単独で頂上を目指す。

11時54分、鉄山。

12時20分、森林限界を超えるとハイマツの中の岩だらけの道になる。

12時30分、山頂着。目の前に立ちはだかるのは大きな、大きな岩の建造物? 五丈岩。まるで人工としか思えない。大勢の人たちが山頂の広場を楽しんでいる。子供たちも遊んでいる。30分ほどで昼食を済ませ、来た道に戻る。

3時過ぎ、大弛峠で皆さんと合流。予約のバスの担当がミスしたようで混雑していたが、これまたラッキーに直行のワゴン車で5時半頃塩山着。北口駅前の一件しかない小粋な居酒屋で打ち上げ、地の大皿のキュウリが美味しくてお替わりまでした。山頂は一人でしたが満足の打ち上げでした。

9月の本番は時間設定を変更して実施予定。

